

## 質疑応答

Q1 アメリカでのデータの紹介があったが、アメリカなど海外の状況について教えて欲しい。

神谷：先日オーストラリアの患者会のリーダーと会って情報交換を行った。新型コロナワクチン健康被害を受けた患者の団体は各国にあり、英語圏の国々20カ国ほどが既に連携を取っていたため日本もそれに加わった。特にアメリカの REACT という患者会が医師との連携を取りながら各国を牽引しており、ワクチン接種後症候群（後遺症）の診断の為に検査法の開発等などに協力し、情報発信をしている。

Q2 ビタミンDのサプリはどれが良いのか、その他のお勧めのサプリについて教えて欲しい。

神谷：ビタミンDは食事で摂れたらよいが、冬は日照時間も減るためサプリに頼ると良いと思う。サプリは添加物が少ないほうが良いので、私は iHerb のサプリを勧めたい。ビタミンDサプリを摂るときは（高カルシウムによる）腎障害を抑えるために、ビタミンKが多く含まれる納豆を3日に1回くらい摂るとよいとの説がある。その他のお勧めのサプリとしては、亜鉛、マグネシウムも必要だと考えている（ただし人による）。マグネシウムは天然塩やにがりに含まれているため、それらを食事で摂るのが良い。

会場の医師より：

骨粗しょう症の治療薬はビタミンDを含有しているが、（処方薬は）カルシウム値が高くなる可能性があるのも難しい（補足：「医師が処方するビタミンD製剤」と「サプリのビタミンD」は成分が異なる）。ビタミンDに限らず、栄養と言うのはすごく大事。にもかかわらず医学部の教育では軽視されている。今後しっかり勉強することが必要だと思う。

Q3. ワクチン被害者のためにできることには何があるか、というテーマに対して

神谷：（いくつか提案の一つとして）お住まいの地域の図書館にコロナワクチン健康被害に関する書籍を置いてもらうようリクエストしていただきたい。よっぽどいいかわしい本でなければ、市民のリクエストの書籍を購入してくれるはず。

石川：当院の待合室に陳列するから自由に借りて行って欲しい。

神谷：図書館をお願いして買ってもらった方が多くの人の目につくので、ぜひ図書館にリクエストを。

Q4. 友人がワクチン接種後に心筋梗塞で亡くなった。ワクチン接種と心筋梗塞 は関連があるか？

石川：大いにあると思う。

Q5. 23歳の息子がコロナワクチン接種後にコロナに感染し、Bスポット療法なども行って安定していたが、疲れが溜まると様々な体調不良の症状が出てくる。最近は胸痛が出てきており心配している。(神谷が) どのように良くなっていったのか教えて欲しい、また静岡で対応してくれる医療機関を教えて欲しい。

石川：コロナワクチン後遺症だと思うが、コロナに感染もしているので、まずはコロナ後遺症として治療を受けるとよいかもしれない。そちらの方が対応してくれる医療機関は多い。

神谷：そのような症状の方は会員の中にもとても多い。免疫力が下がって上咽頭炎が再燃し様々な症状が出てくるのかもしれない。私もBスポット療法を行い一過性に改善はしたが、治癒はしなかった。根本的な治療として、体を温めたり腸活をしたりビタミンDを摂るなどで免疫力を上げるのが良いと思う。静岡の病院に関しては個別にお伝えする。

Q6. 半田市でコロナワクチン後遺症に対応している医療機関を教えて欲しい

石川：心当たりはない。

なお、アンケート用紙に書かれた要望として、「スライドで紹介した資料の出版を教えて欲しい。」というものがありました。とても大切なご指摘をありがとうございます。皆さんのさらなる勉強のためには是非とも必要なことなので、今回の報告をHPに掲載する際に記載します。また、次回からは講演時に明記するようにします。